

2005

# 川上ダム通信 12月号

発行者  
独立行政法人水資源機構  
川上ダム建設所  
〒518-0294  
三重県伊賀市阿保 251 番地  
TEL : 0595-52-1661 (代)  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

## ”学ぼう”地元の歴史や風土

～川上ダム周辺の歴史や風土に関する勉強会を開催～



講演する「大村神社」宮司 金山修 氏

平成17年11月25日(金)川上ダム建設所は、地元の古社「大村神社」の宮司として奉職される金山修氏を招聘し、「大村神社の歴史」という演題で青山地域の歴史や風土を学ぶ勉強会を行いました。

この勉強会は、縁あって青山の地で業務に携わる川上ダム建設所職員にとって、地域のことを勉強し、人・暮らし・歴史・風土を知ることが貴重な糧になるとの考えから、流域連携に伴う職員勉強会の一環として企画したものです。川上ダムの職員の外関西支社の職員や川上ダム建設所が発注している工事の請負者など35人が参加しました。

講演は、「大村神社」の創建と地震守護の「要石(かなめいし)」の話に始まり、青山の地は昔より都から伊勢神宮への参道(初瀬街道)の中心部にある宿場であったことから交通の要衝であったこと、また、川上ダムの建設予定地である川上区の昔の餅つきや祝い歌の神事のことなど、地域の歴史や風土について、我々に分かりやすく丁寧に説明されました。

この「地域を学ぶ学習会」は今回で2回目となります。我々、機構職員が地域や地元から何を求められているかを知る上でも、地域のことを学習することはとても重要なことなので、今後も3回、4回目と継続して開催していきたいと思っています。【総務課長 上村信幸】



メモを取りながら熱心に聴講する職員

大村神社の歴史を語り金山宮司「伊賀市中」

宮司が大村神社の歴史を講義

川上ダム職員らの地域講座

独立行政法人・水資源機構川上ダム建設所(伊賀市阿保)の職員らが地

城の歴史や文化を学ぶ講座が25日、同建設所であった。地震を鎮める「要石」が祭られていることで知られる大村神社(同市阿保)の金山修宮司が「神社の歴史」を講義した。

金山宮司は、参加した建設所職員ら約30人に「神社の名称の由来は、地名の阿保がなまって大村の「大」になつたとされる」など、地域と神社との密接なかわりを説明。「要石」については、「最近自然災害が多く、県外からも神社に来る人が増えた。『万全の準備をした上で、自然の力に手を合わせて安心し、本来の務めを果たせるように』と伝えていきます」と話していた。

【熊谷 登】

↑毎日新聞に学習会の模様が報道されました

# 地元幼稚園児が現場見学 ～工事施工業者が企画～

付替県道松青線第3工区(その4)工事を施工している(株)西山建設では、地元地域の方々とのふれあいと土木のイメージアップを図るため建設現場・建設機械の見学会を、旧青山町桐ヶ丘にある青山よさみ幼稚園の園児たち(2歳児～5歳児)86名を工事現場に招き、11月30日(水)に開催しました。

当日は少し肌寒い中でしたが、園児たちは建設機械の動く様子



園児が描いた工事見学の絵の一部

子を見たり、建設機械への試乗体験や塗り絵をしたり

して楽しんでいました。特に建設機械が実際に土を掘り旋回したときには、大きな歓声を上げて驚いていました。また、試乗体験では何回も機械の運転席に乗り、レバーなどを動かし機械を運転している気持ちになっていたようです。最後に全員で建設機械をバックにして記念写真を撮り見学会を終了しました。後日、現場見学のお礼として、園児が描いた絵を頂きました。【工事課 望月登】



建設機械の試乗体験をする園児

## 川上ダム事業進捗状況の紹介 付替県道松青線第3工区(その4)工事

本工事は県道松阪青山線の付替道路として、道路新設工事を伊賀市老川地内で平成17年3月から18年3月までの工期で行っています。

工事の概要は、道路施工延長が約202m、幅員8mで掘削土量が約81,000m<sup>3</sup>と大量の掘削工事が主で、現在までにほぼ掘削が終わり、道路の形が現れてきました。今後3月までに掘削法面への植生工や排水工等を施工し、舗装を除き完成する予定です。【工事課 望月登】



工事現場の様子 (H17.12.5撮影)

## 情報共有～事務所一丸で取り組む「環境保全協議会」～



環境保全協議会の様子

環境保全協議会は、川上ダム建設事業による自然環境への影響を低減するため、関連する工事、調査、業務などに従事する現場代理人や作業員などと一体となって自然環境の保全を図ることを目的として、月1回開催しています。環境課員による環境パトロールの報告、請負者による環境保全対策実施状況の報告のほか、最近の話題などを情報提供して常に情報共有を図っています。地道な活動が実を結び、請負者が自主的に工事現場周辺の清掃活動を行うなどの成果が見られるようになりました。

12月15日(木)の協議会では、「希少猛禽類の調査と保全対策」と題して平成17年繁殖期調査(H17.2月～7月実施)の報告、現場作業に当たっての注意事項の説明を行うとともに、工事施工業者による現場見学会の報告などを行いました。今後とも持続的な取り組みを実施していきます。【環境課 上坂ゆき子】

# 交通事故防止の徹底へ

～交通安全講習会を開催～

川上ダム建設所では12月7日(水)に、名張警察署交通課長の長谷川三男警部を講師に迎えて交通安全講習会を実施しました。この講習会は、職員一人ひとりに交通安全知識を普及し、交通安全の意識高揚を図るとともに、正しい交通ルールとマナーの遵守を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的として例年実施しているものです。



講義に聞き入る職員



講師の長谷川三男警部

講演では、講師から交通事故に係る発生状況等について数字によるデータの提示や、事故率が最も高いとされる交差点事故の恐ろしさをビデオで視覚体験したり、実際の事故の事例紹介等があり、出席した61名の職員等は講演を熱心に聞き入るとともに、自動車を運転する者としての責任を再確認するとともに安全運転への認識を深めました。 【第一用地課 山本正明】

## 編集部が選ぶ 2005年川上ダム建設所10大ニュース

1. 地域から信頼される「川上ダム建設事業」を目指して  
1月12日 **第一回伊賀市長意見交換会**開催  
4月21日 **第二回**開催、 12月19日 **第三回**開催
2. 川上ダム建設事業へ叱咤激励  
3月 4日 **伊賀市議会「建設水道常任委員会」**現地視察及び事業説明  
6月22日 **伊賀市議会「建設水道常任委員会」**意見交換会
3. 川上ダム建設事業を後押し!! 心強い応援団500人決起  
4月 9日 **「川上ダム建設促進期成同盟会 決起集会」**開催
4. 積極的な情報発信で地域連携を強化  
5月～ **「川上ダム通信」**発行
5. 川上ダムに追い風吹く「川上ダムは継続」  
7月 1日 国土交通省近畿地方整備局 **「ダム方針発表」**
6. 職員の手作りイベントで地域と「ふれ愛」  
8月23日 **「川上ダムふれあいフェスタ」**開催
7. 地道な草の根広報が実を結び地域貢献  
9月 1日 **地元商工会婦人部と合同で「普通救命講習会」**実施
8. 安全にかける願い!!  
11月15日 **上野労働基準監督署と合同で「所内安全協議会」**開催
9. ダム造りの受益と負担すべて教えます  
11月17日 地元青山小学校で職員が **「出前講座」**を実施
10. 事業推進へ「川上ダムに満額15億円」  
12月21日 **06年度政府予算 財務省原案内示**



## 新技術の紹介 《ハイパワーロックフェンス工法》

今回は、ハイパワーフェンス工法研究会が開発した「ハイパワーロックフェンス工法（以下HRF工法）」を紹介します。

HRF工法は、開発された支柱、緩衝金具、分散維持装置、ストッパーを組み合わせることにより高エネルギーの落石を吸収し、さらに落石を受け止めた後の突出量を極力少なくなるように設計された工法です。支柱間で落石の衝突エネルギーを全て吸収出来る構造となっており、衝突後のメンテナンスも支柱と横ロープの連結は簡単に取り外しが可能です。そのため、他工法に比べて補修費が削減でき、また既設防護柵の基礎幅50cmでの施工も可能となっています。

【国土交通省ホームページ：新技術情報提供システム（NETIS）より参照】



## 獅子が舞う～大村神社秋祭り～

11月2日（水）、3日（木）の両日、伊賀市阿保の大村神社で秋祭りが行われました。大村神社は、延喜式にも記されている古社で、境内には虫喰鐘（むしくいのかね）、地震の神様が鎮座する要石社（かなめいし）があり、多くの信仰を集めています。私が見学に行った2日夜は、宵宮祭と獅子舞神楽が行われ、模擬店も出て多くの人で賑わいました。特に獅子舞神楽は多くの見物客の目を引きつけ、祭りを盛り上げていました。【通信記者 武村剛泰】



勇壮な獅子舞

## EVENT

### 新大仏寺年越し参り

「阿波の大仏さん」と呼ばれ親しまれている新大仏寺は、交通安全・家内安全・無病息災等の御利益。除夜の鐘つき、また甘酒のサービスもあります。  
○日時／12月31日（土）～1月1日（日）  
○場所／伊賀市富永（旧阿山郡大山田村富永）

### 第30回おおやまだ元旦マラソン

1年の始まりは、まず健康から。さわやかに汗を流して、新年をスタート。先着600人で、コースは5km、3.5km、2km。参加費500円。  
○日時／1月1日（日）8：30出走  
○場所／大山田温泉さるびの

### 「伊賀学検定試験」

松尾芭蕉、忍者など伊賀の文化や歴史にまつわる知識をテストする「ご当地検定」。正解率70%以上で合格となり、認定証が発行されます。  
○日時／受験対策セミナー：1月28日（土）  
試験申込期間：1月5日（木）～2月5日（土）  
検定試験：3月5日（日）13時～14時  
○試験会場／上野商工会議所他

## 編集後記

今年の5月から川上ダム通信を発行し始め、早いもので今回が第8号となりました。7月号では「ダム方針発表」の際、関係の方々へ取材を行い、生の声を伺えたことが印象に残っています。来年も充実した「川上ダム通信」作りに励んでいきますので、よろしくお願いいたします。

広報誌発行事務局

編集長 恒吉 徹（川上ダム建設所長）  
デスク 上村 信幸（総務課長）  
" 二林 修（工務課長）  
通信記者 武村 剛泰（総務課）  
" 田中 幸志（工務課）